

SFC 研究所所長 殿

SFC 研究所ラボラトリ年次活動実績報告書

ラボ名称	AI社会共創・ラボ			
ラボ代表者	氏名	新保 史生	所属	総合政策学部
ラボ設置期間	2016年7月6日		~	2022年7月5日
			6	年間

構成メンバー（提出時点）		
氏名	所属・職位	役割
富田 勝	環境情報学部教授	共同代表・統括
松川 昌平	環境情報学部准教授	アルゴリズム建築・表現技法の研究
田中 浩也	環境情報学部教授	AI技術の応用・ファブリケーション環境開発
徳井 直生	政策・メディア研究科准教授	AIを用いた創造性の拡張 / 新しい表現の創出
高橋 恒一	政策・メディア研究科特任教授（非常勤）	全体の統括、AI技術開発
黒坂 達也	政策・メディア研究科特任准教授（非常勤）	情報セキュリティ・プライバシーの研究
齊藤 邦史	総合政策学部准教授	AI利活用に関わる法律の研究
井上 智洋	SFC研究所上席所員	マクロ経済学・AI技術による経済的影響の研究
山川 宏	SFC研究所上席所員	AI技術開発
赤坂 亮太	大阪大学 社会技術共創研究センター（ELSIセンター）	AI利活用に関わる法律の研究
川本 大功	政策・メディア研究科特任講師（非常勤）	AIに関する法制度・技術
佐野 仁美	慶應義塾大学 医学部特任研究員	テクノロジーアセスメント構築
畠山 記美江	SFC研究所所員	AIに関する原則や指針の研究

年次活動実績報告

研究活動報告（設置申請書、継続申請書の研究活動計画と対比するように記載してください。）

- ・サイバネティック・アバター（CA）の研究開発に向けた法的・倫理的課題の導出
- ・対話知能学における実証実験実施ガイドラインの策定
- ・自律型・遠隔ロボットの社会実装に向けた認証制度の検討
- ・AI及びロボットの利用に伴う法令遵守に必要な基準の整備に向けた研究
- ・各業界におけるAIおよびデジタル技術導入事例の体系化と、変化後の組織研究
- ・AIおよびデジタル技術による、組織における情報共通経路の変化とイノベーション
- ・科学技術政策におけるテクノロジーアセスメントに関するレビュー
- ・AIの利用に伴う雇用環境の変化とベーシックインカムの国内導入に際するシミュレーション
- ・各業界におけるAIおよびデジタル技術導入後の産業構造の変化に関する研究
- ・日本の科学技術政策におけるテクノロジーアセスメントの検討
- ・国際基準に対応した施策立案の基礎となる知見の提供や執行体制及び越境執行協力のあり方（国際的な調和）に関する検討と研究
- ・各業界におけるAIおよびデジタル技術導入後の職業変化に関する研究
- ・日本の科学技術政策におけるテクノロジーアセスメント指標の作成

研究成果（学術論文、著作物、メディア露出等）

新保史生「個人情報保護をめぐる環境変化の沿革と法制度の変遷」情報の科学と技術70巻5号PP. 224-230 (2020)

新保史生「自律型致死兵器システム(LAWS)に関するロボット法的視点からの考察」電子情報通信学会基礎・境界ソサイエティ誌13巻3号PP. 217-230 (2020)

新保史生「A I 原則は機能するか？ - 非拘束的原則から普遍的原則への道筋 -」情報通信政策研究3巻2号PP. 53-70 (2020)

新保史生「中小企業における個人情報保護への取り組み」日本政策金融公庫調査月報2020年7月号PP. 36-41 (2020)

新保史生「AIによる自治体の業務改革と行政サービスの充実に向けた検討のあり方」自治体法務研究通巻62号PP. 23-28 (2020)

新保史生「行政の I T 化の課題」日本経済新聞8月24日朝刊13面経済教室

Fumio Shimpo, Legal accountability issues related to the utilisation of life-logs, WMSCI 2020 – 24th World Multi-Conference on Systemics, Cybernetics and Informatics, Proceedings, 3 PP. 30-36 (2020)